

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	96	事業名	都市公園事業（豊間地区防災緑地）※施設費	事業番号	D-22-10																				
交付団体	福島県	事業実施主体（直接/間接）	福島県（直接）																						
総交付対象事業費	1,310,000（千円）	全体事業費	1,610,000（千円）																						
事業概要																									
<p>■ 豊間地区 津波防災緑地整備 A=13.6ha</p> <p>いわき市施工の豊間被災市街地復興地区画整理事業と連携し、津波防災緑地整備等のハード施策と防災教育、避難訓練等のソフト対策とを柔軟に組み合わせ、総動員させる「多重防衛」の考え方により、津波防災・減災のまちづくりを推進する。</p> <p>平成 24 年度の第 3 四半期までに都市計画決定・事業認可を実施し、必要な調査設計及び用地買収（公管金対応）を実施する。</p>																									
<p>■ いわき市復興事業計画（第一次）</p> <p>重点施策：津波被災地の復興に向けた土地利用プロジェクト</p> <p>主な取組み：津波防災緑地整備</p>																									
<p>■ 事業費増（流用）による経費の変更（第 19 回）</p> <p>盛土工、法面整形、防根シート追加、擁壁工追加、植栽工（マルチング）、防風垣増工追加</p> <p>流用元：沼ノ内地区 100,000 千円、薄磯地区 200,000 千円</p> <table><tr><td>（当 初）</td><td>豊間防災緑地</td><td>※施設費</td><td>本工事費</td><td>1,140,000 千円</td></tr><tr><td>（変更増）</td><td>豊間防災緑地</td><td>※施設費</td><td>本工事費</td><td>300,000 千円</td></tr><tr><td>（変更後）</td><td>豊間防災緑地</td><td>※施設費</td><td>本工事費</td><td>1,440,000 千円</td></tr><tr><td>本工事費</td><td>1,440,000 千円</td><td>+ 測量設計費</td><td>170,000 千円</td><td>= 1,610,000 千円</td></tr></table>						（当 初）	豊間防災緑地	※施設費	本工事費	1,140,000 千円	（変更増）	豊間防災緑地	※施設費	本工事費	300,000 千円	（変更後）	豊間防災緑地	※施設費	本工事費	1,440,000 千円	本工事費	1,440,000 千円	+ 測量設計費	170,000 千円	= 1,610,000 千円
（当 初）	豊間防災緑地	※施設費	本工事費	1,140,000 千円																					
（変更増）	豊間防災緑地	※施設費	本工事費	300,000 千円																					
（変更後）	豊間防災緑地	※施設費	本工事費	1,440,000 千円																					
本工事費	1,440,000 千円	+ 測量設計費	170,000 千円	= 1,610,000 千円																					
<p>（事業間流用による経費の変更）（平成 29 年 10 月 11 日）</p> <p>平成 29 年度の予算確保のため、（いわき市）D-22-6 都市公園事業（沼ノ内地区防災緑地）※施設費から 30,000 千円（国費：H25 復興庁繰越分（当初分）H27 予算 22,500 千円）を流用。</p> <p>平成 30 年度の予算確保のため、（いわき市）D-22-6 都市公園事業（沼ノ内地区防災緑地）※施設費から 70,000 千円（国費：H25 復興庁繰越分（当初分）H27 予算 52,500 千円）、（いわき市）D-22-8 都市公園事業（薄磯地区防災緑地）※施設費から 200,000 千円（国費：H25 復興庁繰越分（当初分）H27 予算 150,000 千円）を流用。</p> <p>これにより、流用後交付対象事業費は 1,310,000 千円（国費 982,500 千円）から 1,610,000 千円（国費 1,207,500 千円）に増額。</p>																									
当面の事業概要																									
<p>＜平成 24 年度＞</p> <p>地形測量、緑地設計</p>																									
<p>＜平成 25 年度～平成 30 年度＞</p> <p>盛土工、園路工、植栽工</p>																									
東日本大震災の被害との関係																									
<p>東日本大震災に伴い発生した津波により、被害を受けた豊間地区では、住宅地等は近隣の安全な区域へ移転し、一部区域は防災対策等により安全性の向上を図りながら海岸堤防と合わせて津波防災緑地を整備し、災害に強い市街地を形成する。</p>																									
関連する災害復旧事業の概要																									
<p>海岸災害復旧（豊間地区海岸） L=2,379.0m</p> <p>河川災害復旧（諏訪川） L=467.7m</p>																									

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

No.	205	事業名	道路事業(市街地相互の接続道路等)	事業番号	D-1-9
交付団体	福島県	事業実施主体(直接/間接)	福島県		
総交付対象事業費	344,293(千円)	全体事業費		484,293(千円)	

事業概要

小名浜地区では、東日本大震災により、産業・物流拠点の小名浜港や区画整理事業区域、観光振興拠点のアクアマリンパーク等が甚大な津波被災を受けた。

本事業は、震災前より安全・安心で、活力に満ち溢れた市街地の形成を早期に行うため、被災市街地復興土地区画整理事業区域に接した街路を一体的に整備するものである。

被災を受けた港湾施設やアクアマリンパーク等は復旧されつつあるが、小名浜の回遊や交流を促進するためには、今後実施する区画整理内の街路に接し港と既成市街地を結ぶ本路線の一体的な整備が必要である。地域住民や市、県などの関係機関が連携して都市基盤を整備することにより、いわき市の新しい復興まちづくりに寄与するものである。

■整備予定路線

(都) 平磐城線小名浜工区 L=324m W=13.0(29.25)m

調査、用地補償、本工事

■いわき市復興事業計画(第一次)

○取組の柱 4 経済・産業の再生・創造 (4) 復興のシンボルとしての拠点整備

取組名: 小名浜港周辺地域の復興

取組内容: 当該エリアのうち、その中心に位置する小名浜港背後地については、土地区画整理事業により福島臨海鉄道貨物ターミナルの移転を行い、臨港地区と既成市街地を(都) 平磐城線で繋ぐとともに、都市センターゾーンに民間活力を導入する。

○重点施策 5 小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生プロジェクト

※当事業は財政力指数の変更により補助率が 3/5 から 5/9 に変更となるため、No. 73 事業のうち、残工事に係る内容を移行したものである。

(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 10 月 11 日)

平成 29・30 年度予算確保のため、広野町 D-1-10 道路事業(市街地相互の接続道路) 広野小高線(北迫工区)より 140,000 千円(国費 H25 復興応繰越分(当初分) 108,500 千円)を流用。これにより、全体事業費は 484,293 千円(国費 373,521 千円)に増額。

当面の事業概要

<平成 28~30 年度> 用地買収、電線共同溝及び道路改良工

東日本大震災の被害との関係

当該地区では、東日本大震災の大津波により、港湾区域、区画整理事業区域、区画整理に接する既成市街地が浸水し、壊滅的な被害を受けた。

【国土交通省の直轄事業による調査結果: 小名浜(市街地)地区】

全壊・大規模半壊 308 棟、半壊・一部損壊 321 棟

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	92	事業名	都市公園事業（沼ノ内地区防災緑地）※施設費	事業番号	D-22-6
交付団体	福島県	事業実施主体（直接/間接）	福島県（直接）		
総交付対象事業費	340,000（千円）	全体事業費		240,000（千円）	

事業概要

■沼ノ内地区 津波防災緑地整備 A=1.6ha

津波防災緑地整備等のハード施策と防災教育、避難訓練等のソフト対策とを柔軟に組み合わせ、総動員させる「多重防衛」の考え方により、津波防災・減災のまちづくりを推進する。

平成 24 年度の第 3 四半期までに都市計画決定・事業認可を実施し、必要な調査設計及び用地買収（公管金対応）を実施する。

■いわき市復興事業計画（第一次）

重点施策：津波被災地の復興に向けた土地利用プロジェクト

主な取組み：津波防災緑地整備

■事業費減（流用）による経費の変更（第 19 回）

豊間地区防災緑地への流用

（当 初） 沼ノ内地区防災緑地 ※施設費 本工事費 300,000 千円

（変更減） 沼ノ内地区防災緑地 ※施設費 本工事費 -100,000 千円

（変更後） 沼ノ内地区防災緑地 ※施設費 本工事費 200,000 千円

本工事費 200,000 千円 + 測量設計費 40,000 千円 = 240,000 千円

（事業間流用による経費の変更）（平成 29 年 10 月 11 日）

平成 29 年度の豊間地区防災緑地の予算確保のため、（いわき市）D-22-10 都市公園事業（豊間地区防災緑地）※施設費へ 30,000 千円（国費：H25 復興庁繰越分（当初分）22,500 千円）を流用。

平成 30 年度の豊間地区防災緑地の予算確保のため、（いわき市）D-22-10 都市公園事業（豊間地区防災緑地）※施設費へ 70,000 千円（国費：H25 復興庁繰越分（当初分）52,500 千円）を流用。

これにより、流用後交付対象事業費は 340,000 千円（国費 255,000 千円）から 240,000 千円（国費 180,000 千円）に減額。

当面の事業概要

＜平成 24 年度＞

地形測量、緑地設計

＜平成 25 年度～平成 29 年度＞

盛土工、園路工、植栽工

東日本大震災の被害との関係

東日本大震災に伴い発生した津波により、被害を受けた沼ノ内地区では、住宅地等は近隣の安全な区域へ移転し、一部区域は防災対策等により安全性の向上を図りながら海岸堤防と合わせて津波防災緑地を整備し、災害に強い市街地を形成する。

関連する災害復旧事業の概要

海岸災害復旧（沼ノ内地区海岸） L=722.8m

河川災害復旧（弁天川） L=615.5m

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	94	事業名	都市公園事業（薄磯地区防災緑地）※施設費	事業番号	D-22-8																				
交付団体	福島県	事業実施主体（直接/間接）	福島県（直接）																						
総交付対象事業費	840,000 (千円)	全体事業費	640,000 (千円)																						
事業概要																									
<p>■薄磯地区 津波防災緑地整備 A=4.6ha</p> <p>いわき市施工の薄磯被災市街地復興地区画整理事業と連携し、津波防災緑地整備等のハード施策と防災教育、避難訓練等のソフト対策とを柔軟に組み合わせ、総動員させる「多重防衛」の考え方により、津波防災・減災のまちづくりを推進する。</p> <p>平成 24 年度の第 3 四半期までに都市計画決定・事業認可を実施し、必要な調査設計及び用地買収（公管金対応）を実施する。</p>																									
<p>■いわき市復興事業計画（第一次）</p> <p>重点施策：津波被災地の復興に向けた土地利用プロジェクト</p> <p>主な取組み：津波防災緑地整備</p>																									
<p>■事業費減（流用）による経費の変更（第 19 回）</p> <p>豊間地区防災緑地への流用</p> <table><tr><td>(当 初)</td><td>薄磯地区防災緑地</td><td>※施設費</td><td>本工事費</td><td>770,000 千円</td></tr><tr><td>(変更減)</td><td>薄磯地区防災緑地</td><td>※施設費</td><td>本工事費</td><td>-200,000 千円</td></tr><tr><td>(変更後)</td><td>薄磯地区防災緑地</td><td>※施設費</td><td>本工事費</td><td>570,000 千円</td></tr><tr><td>本工事費</td><td>570,000 千円</td><td>+ 測量設計費</td><td>70,000 千円</td><td>= 640,000 千円</td></tr></table>						(当 初)	薄磯地区防災緑地	※施設費	本工事費	770,000 千円	(変更減)	薄磯地区防災緑地	※施設費	本工事費	-200,000 千円	(変更後)	薄磯地区防災緑地	※施設費	本工事費	570,000 千円	本工事費	570,000 千円	+ 測量設計費	70,000 千円	= 640,000 千円
(当 初)	薄磯地区防災緑地	※施設費	本工事費	770,000 千円																					
(変更減)	薄磯地区防災緑地	※施設費	本工事費	-200,000 千円																					
(変更後)	薄磯地区防災緑地	※施設費	本工事費	570,000 千円																					
本工事費	570,000 千円	+ 測量設計費	70,000 千円	= 640,000 千円																					
<p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 10 月 11 日)</p> <p>平成 30 年度の豊間地区防災緑地の予算確保のため（いわき市）D-22-10 都市公園事業（豊間地区防災緑地）※施設費へ 200,000 千円（国費：H25 復興応援越分（当初分）150,000 千円）を流用。</p> <p>これにより、流用後交付対象事業費は 840,000 千円（国費 630,000 千円）から 640,000 千円（国費 480,000 千円）に減額</p>																									
当面の事業概要																									
<p><平成 24 年度></p> <p>地形測量、緑地設計</p> <p><平成 25 年度～平成 29 年度></p> <p>盛土工、園路工、植栽工</p>																									
東日本大震災の被害との関係																									
<p>東日本大震災に伴い発生した津波により、被害を受けた薄磯地区では、住宅地等は近隣の安全な区域へ移転し、一部区域は防災対策等により安全性の向上を図りながら海岸堤防と合わせて津波防災緑地を整備し、災害に強い市街地を形成する。</p>																									
関連する災害復旧事業の概要																									
海岸災害復旧（豊間地区海岸） L=1,184.0m																									